

医動物検査

医動物室における平成22年1～3月の検査件数を表に示しました。

【行政検査:福祉保健センター、市場食品衛生検査所など行政からの依頼】

食品中異物検査が2件(ボイルホタルイカに混入したコウラナメクジ科、野菜炒めに混入した異物)、種類同定検査が4件(オオワラジカイガラムシの1齢幼虫、ゴキブリの糞、ガイマイゴミムシダマシの幼虫、コウカアブの幼虫)でした。

【依頼検査:市民、事業者からの有料依頼】

種類同定検査が2件(タバコシバンムシの幼虫、ヒラタチャタテ)でした。

【その他:感染症媒介昆虫等の市内における生息状況を把握するために行う調査や市民からの問い合わせ等】

中区、磯子区、南区でドライアイス併用ライトトラップを用い、週に1回飛翔昆虫調査を行いました。1～3月中に39定点の調査を行いました。

また、中区の5飲食店、47定点で粘着式トラップによるチャパネゴキブリの生息状況調査を実施しました。1～3月中にのべ561ヶ所の調査を行いました。

感染症媒介昆虫調査の一環として、磯子区において雨水枡における蚊幼虫調査および粘着式トラップを用い、飛翔昆虫調査を行いました。

検査試験項目	平成22年			平成21年4月	
	1月	2月	3月	～平成22年3月	
行政検査	種類同定検査	1		36	件
	食品中異物検査	1		13	件
	ウエストナイル熱蚊検査				
	採集地点数			200	定点
	個体数			5,592	個体
依頼検査	種類同定検査	2		8	件
	食品中異物検査			2	件
	発生状況調査(ダニ類)				
	調査回数			0	件
	個体数			0	個体
	殺虫剤効力試験			16	件
その他	ゴキブリ調査	192	187	182	2,364カ所
	飛翔昆虫調査	12	13	14	154定点
	その他の調査等	80	80	80	1,547件
	問い合わせへの回答	8	5	8	177回

検査試験項目等 解説

種類同定検査

福祉保健センター、市民、事業者などから依頼のあった昆虫・ダニ類の種を調べます。種が明らかになることにより、生態等が判明し、その発生時期、発生場所、害の有無などに基づいて駆除の必要性、駆除方法、予防法などが明らかになります。

食品中異物検査

福祉保健センター、市民、事業者などから依頼のあった食品に混入した昆虫の種を調べます。種が明らかになることにより、生態等が判明し、混入経路を推定する一助となります。

ウエストナイル熱媒介蚊調査

健康福祉局の「ウエストナイル熱対策事業」におけるウエストナイルウイルスの調査を行っています。種ごとのウイルス保有状況を調べるため、市内公園や港湾地区などで採集された蚊を分類同定します。なお、採集した蚊についてはウイルス担当において、日本脳炎ウイルスの検査も合わせて行っています。なお、検査結果については、衛生研究所WEB ページ(病原体情報)をご覧ください。
<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsdsc/pathogen/infckakekka.html>



ダニ類等発生状況調査

市民からのかゆみや虫刺されの相談に基づいて、必要に応じて、住宅内でのダニ検査を行います。ダニ発生の有無を調べ、発生している場合には人を刺すダニであるかなどの検査を行います。

殺虫剤効力試験

新しく開発された防疫用殺虫剤の効力試験を、室内(基礎)および野外(実地)で行います。

ゴキブリ調査

実際に営業している飲食店におけるゴキブリの生態を把握するため、また殺虫剤の実地効力試験の予備調査として、ゴキブリ生息状況調査を行っています。

飛翔昆虫調査

ライトトラップを用い、時期ごとに大量発生している昆虫類等の発生状況や感染症媒介昆虫である蚊類成虫を中心とした飛翔昆虫の発生状況を調査しています。

その他の調査等

21年度は、雨水枡内での蚊、その他の害虫の生息状況調査、ヒトスジシマカ成虫の捕獲調査を行っています。

問い合わせ

市民の方などから相談のあった、昆虫・ダニ、昆虫媒介性疾病、殺虫剤などに関する不安、疑問に回答、助言、指導をします。

写真:コウカアブ幼虫(ミスアブ科)

ハエの仲間で、終齢幼虫の体長は約20mm。体は平べったく、モゾモゾ動きます。畜舎、コンポストなどから発生します!!

【 医動物担当 】